平成31年４月７日執行　横浜市議会議員 南区 選挙区（定数４人）

選　挙　公　報

午後８時まで投票できます

横浜市選挙管理委員会

渋谷たけし

自民党公認

アメリカ合衆国大統領　ジョン・F・ケネディの就任演説より

「国が私たちのために何をしてくれるかでなく、私たちが国のために何ができるのかを問いたまえ」

私も応援します

「渋谷たけし」は人口減少、少子高齢化という厳しい時代を迎える横浜にとって、市会議員として絶対に必要な人物です。

そして、官房長官として、なかなか地元に戻れない私にとって、選挙区を安心して任すことができるまとめ役を担う、かけがえのない男が**「渋谷たけし」**です。

何卒、あなたの大切な一票を**「渋谷たけし」**に託してください。

内閣官房長官　菅　義偉

プロフィール

県立横浜緑ヶ丘高等学校、早稲田大学政治経済学部政治学科卒。県議会議員新堀豊彦事務所、自民党神奈川県連、衆議院議員 すが義偉事務所での勤務（公設第一秘書・政策秘書）を経て、故鈴木正之市会議員の後継として、平成19年横浜市会議員選挙で初当選。現在、当選三期。自民党横浜市連筆頭副幹事長、自民党南区連合支部支部長。
横浜市会／政策・総務・財政委員会委員長
横浜市カヌー協会会長、横浜市なぎなた連盟会長

12年前、あこがれのケネディ大統領のこの就任演説を胸に、政治家としてのスタートラインにつきました。ひとりの政治家として、常に横浜のために何ができるかを問い続けた12年でした。

横浜はいま、大きな時代の転換期を迎えています。開港以来、様々な試練を迎えながら、右肩上がりで増えてきた人口が、今年2019年をピークに毎年毎年減っていく「人口減少社会」を迎えます。

今までの価値観や常識では、この危機を乗り越えることはできません。

大切なことは、時代を見据えた確かなビジョンと何物をも恐れず、批判を覚悟で、新しいものに挑戦する勇気と決断です。

未知なる荒野へ、勇気をもって挑戦し続けることで、横浜の新しい時代を拓くことができると信じています。

さあ皆さん、勇気を持って挑戦しましょう！

いのち・暮らし・雇用を守る　いとう純一

立憲民主党公認

まっとうな政治を市民と共に！

横浜にカジノはいりません

平和を守り、ひたむきに地域の課題に取り組みます

＊大規模災害に備える
狭あい道路の拡幅やがけ地対策など地域防災力の強化に取り組みます

＊地域包括ケアシステムの拡充
高齢者が生き生きと暮らせるよう、医療・介護・福祉の充実・強化に取り組みます

＊「子どもの貧困の連鎖」を断ち切る
教育の無償化に向けた施策を充実し、中学校給食を実現します

＊地域公共交通の強化
生活に密着するバス路線の確保、福祉的視点を取り入れたミニバスなどの導入に取り組みます

＊消費税の増税に反対
「格差社会の拡大」の中で、誰もが安心して生活できる社会を実現します

＊中小企業・商店街の活性化
中小企業向けの発注量の増大、資金調達支援策の充実、そして商店街の活性化に取り組みます

プロフィール

1972年10月10日　生まれ
1991年3月　神奈川県立津久井浜高等学校卒業
1991年4月～2014年5月　横浜市役所勤務
2015年4月～　横浜市会議員

推薦します　枝野幸男（立憲民主党代表）・山口二郎（政治学者・法政大学教授）・蓮舫（参議院議員）

原祥平

聞かせてください　あなたの想い

公約

・政治献金・政党交付金は受け取りません。
・政務活動費を最低限に抑え、公表します。

政策

※下記は一部の抜粋です。市民の皆さんの声により柔軟に変更する場合がありますが、実現に向けてひたむきに頑張ります。詳細は Youtube にて紹介しています。

ブラック企業対策	・時間/金だけでなく命をも奪うブラック企業を『働け詐欺グループ』と呼称、**経営者に刑事責任を** ・雇用の流動化推進で転職し易い社会を
いじめ対策	幼い子が自ら命を絶つ、そんな悲しい事件を二度と繰り返さない。 **・いじめを報告してくれた教師や生徒を奨励します** ⇒隠ぺい体質是正＋傍観者を生まない ・**「スクールポリス」**で生徒が逃げ込める場を
子育て支援	・**大規模子育て宿泊施設（セキュリティ完備・離乳食バイキング等）**で育児の不安・負担軽減＋母親たちの交流を促します。孤独な育児からの虐待防止にも ・「ジーナ式」推奨で寝られない育児からの解放を
生活保護	・**寮制度＋給食制度**で総支給金額の徹底的効率化と不正受給防止、本当に必要な人に支給できる環境を ・支給期限を有期限化し不正受給を防ぐ(更新可)

原　祥平（はら　しょうへい）のプロフィール：1986年北海道生まれ。学生時代はラグビー部に所属。北海道大学工学部卒業。
労務管理を通じて労働問題、勤務協定に精通。

育児休職を経験。様々な事情があっても気軽に有休・育休などが取得できる世の中にしたいと思い立候補。育児・介護の公的支援を拡充すべきと考えており、外国人地方参政権には断固反対。政治家と会う時間がないママさん・学生・サラリーマンの意見も広範に聞くため、Twitter や Youtube を活用予定。
「はぐはぐの樹」のスタッフや、ママ友さん達によくお世話になっています。

市民の迷惑となる**街頭演説**、選挙カーでの**連呼行為**、掲示場以外の**ポスター貼り**はしません。

←Twitter
Youtube→

ゆさ大輔

横浜市会議員　自民党

世代を、つなぐ。

未来をたくす新たな力！
遊佐大輔、3期目へ挑戦！
詳細は yusadaisuke.com⇨

2期8年の実績

声は届く。未来が変わる。
決断力と行動力で市政を改革。

■議員定数削減（南区市議5→4）
■市立小中学校の空間放射線量の測定を早期に完了
■崖地・防災条例の制定
■空き家問題に取り組み特措法成立
■介護度判定までの時間を短縮
■いじめ根絶を始めとした教育改革
■新生児聴覚検査の助成拡大
■夜間中学校校庭への照明設置
■市営地下鉄・バスの通学定期券を料金値下げ

改革の継続

継続こそが力になる。
忍耐力と突破力で難題にチャレンジ。

■旧南区役所の跡地活用
■阪東橋駅から南区総合庁舎までの無電柱化を加速
■南区こどもオリンピックの開催
■海外視察公費支出ゼロを継続
■防犯カメラ設置拡充
■消防団充足率100%を維持
■北海道夕張市との交流で相互発展
■毎月約30ヶ所の市政報告を実施
■「ゆさ祭り」等で寄せられた募金を直接被災地に届け復興を後押し

これからの約束

できない約束はしない。
就職氷河期世代の覚悟と責任。

■地下鉄トイレきれい化計画
■国や県から税財源と権限を移譲し地域課題を解決
■介護施設の設置基準を緩和
■特定不妊治療をサポート
■産後診察・検査への補助
■学校体育館に空調整備
■条例制定を契機に商店街活性化
■国際園芸博覧会の横浜誘致
■菅 義偉 官房長官と強固な連携で観光都市・横浜を確立

プロフィール

◇1981年南区生まれ。横浜高校へ入学し野球部入部。桜美林大学へ進学も家業閉鎖で勉学の道を断念。
◇就職した民間ゴミ工場での下積みが転機となり、すが義偉・衆議院議員（現内閣官房長官）の秘書に。
◇2011年横浜市会議員選挙に初挑戦で初当選。2015年再選（水道・交通委員会委員長、青年局長）。
◇地域活性と震災復興支援を目的に年2回「ゆさ祭り」を開催。縁日とおもちつき大会で世代をつなぐ。

あらき由美子

日本共産党

出来たてを、みんなが食べられる、自校調理方式の

中学校給食の実現を

全国で当たり前に実施されている中学校給食を実現します。業者配達弁当「ハマ弁」の給食化ではなく、全国の豊かな給食実践に学び、最良の中学校給食を子ども達へおくりましょう。

中学校給食設備費(全校) **260億円** ←市予算の1.5%

税金の使い方を暮らし最優先へ

不要不急の大型開発 チェンジ 大企業優遇 **1000億円**（2019年度予算）
●新市庁舎 ●高速道路 ●新ふ頭 ●民間ビル補助 ●日産への助成金 など

■高い国保料引き下げ
■特養ホーム増設
■18歳まで医療費無料
■認可保育園の増設
■中小企業支援強化
■商店街リフォーム助成

・危険な崖、ブロック塀対策
・生活道路、歩道、スクールゾーン整備
・市営住宅の増設
・バス・公共交通充実
・敬老パスの継続
・再生可能エネルギーの促進

あなたの声で、あなたの暮らしはかわります

迅速な防災対策

防災予算の増額を！

緊急な対策が必要ながけ地が全市で1364か所、南区には市内トップの164か所が集中。細い路地の入り組んだ地域も多く、防災対策は緊急課題です。大型開発よりガケ地対策を。区内唯一の女性市議として再び働かせてください。

憲法9条守る　消費税10%中止

<プロフィール>
●党横浜市議団長５期目
●元保育士、現役の消防団
●1959年生まれ ●県立清水ヶ丘高卒（現横浜清陵高）、京浜女子大（現鎌倉女子大）家政学部児童学科卒
●六ツ川台団地在住

あらき由美子 検索

仁田がつくる４つのカタチ　仁田まさとし

公明党公認

「防災・減災」対策

庁舎・学校・病院など、災害時に防災拠点となる施設に、非常用電源設備や夜間照明、公衆無線 LAN（Wi-Fi）の設置を推進。災害時の避難所となる体育館等にエアコンを完備します。

子ども医療費助成18歳まで拡充へ

公明党の長年の主張で、子ども医療費の助成が拡大。「全世代型社会保障の構築」に向け、所得制限の撤廃や対象年齢の引き上げに取り組みます。

私立高校授業料を無償に！

公明党の推進で、私立高校授業料が「年収約590万円未満」の世帯までが実質無償に。今後、「年収約750万円未満」の世帯まで引き上げます。

健康長寿の南区に

これまで健康寿命延伸施策や認知症の総合的対策を推進。人生100年時代を見すえ、何歳でも学び直しができ、誰もが輝く社会を目指します。

実現力No.1（ナンバーワン）

地域を守る防災士
最新情報がわかる
仁田 LINE@はコチラ ▶

仁田の主な実績

防災・減災
○防災・減災推進研修の創設
○防災ヘルメットの小学生への支給
○地域防災拠点の資機材の見直し
○危険ブロック塀の対策

子育て支援
○保育・教育コンシェルジュの設置
○子育て世代包括支援センターの展開
○母子保健コーディネーターのモデル配置

健康・医療
○アレルギーセンターの設置と拡充
○救急電話相談の開設と拡充

高齢化対策
○健康寿命延伸施策の推進
○「寝たきゼロ」の創設
○認知症サポーター養成の推進
○「民間住宅あんしん入居事業」の創設と拡充
○家庭ゴミの「ふれあい収集」実施

昭和31年8月生まれ。南区出身。市立大岡小学校卒。62歳。
横浜国立大学工学部卒。昭和54年私立浅野中高校卒。株式会社巴川製紙入社。平成7年横浜市会議員初当選。現6期。
党県本部幹事会会長。横浜市会建築・都市整備・道路委員会委員、減災対策推進特別委員会副委員長。防災士

統一地方選挙
（市会・県会・知事）

投　票　日
４月７日（日）
午前７時～午後８時

投票日に、投票所に行けない方は、期日前投票又は不在者投票をご利用ください。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿を、そのまま写真製版によって印刷したものです。